

【審査員・講評】（敬称略、順不同）

内藤廣、小泉誠、大西麻貴、の3氏を審査員として厳正なる審査を行いました。
審査講評をここでご紹介いたします。



内藤廣
（建築家・東京大学名誉教授・多摩美術大学学長）

木製家具は暮らしの中にあり人の傍らにあります。わが国では使う側も木のことをよく知っているので、新しいデザインを生み出すには新しいアイデアが求められます。
グランプリの『「目透かし」な筆筒』は面白かった。仕組みを少しいじるだけで、これまで見たことのないような新しい筆筒が出現しました。正面から見た幾何学構成が美しい。意図が一目でわかる良い作品だと思いました。
気になったのは『tsumutoki』でした。昔は柱に印をつけて身長が伸びることを寿いだものですが、それを素朴な積み木にした。木ならではのほんのりしたあたたかさを感じます。それ以外で気になったのは『fondue』です。木をそのまま削り出したユニークな案です。経年変化や温湿度環境による割れなどを考えると少し心配なところがありました。『kumu kumu chair』も目を引きました。新しい技術を持ち込んで挑戦しています。まだ不確定なところが多々ありそうですが、今後の検証次第で新しい可能性が開けると感じました。



小泉誠（家具デザイナー）

多くの家具が集まり難しい選考だったが「木材を使った家具らしさ」を見つけながら審査をした。気になった家具は3つ。金賞の『Ensemble』は曲木の変色を前向きに捉え、独特な仕口を施すことで個性となり気持ちの良い椅子になった。銅賞の『Ma-chair』はシンプルな構成の一部に色を施すことで用途を促す環境家具になったが、細部に木を生かしきれていないのが残念。入選の『伸びをしている子猫の椅子』はとても好み。猫の抽象化具合も上手くこの椅子の周りで笑顔が溢れる姿が浮かんだ。家具は実用的であるとともに情緒的であるべきなので、このような愉快な家具が評価されたことが嬉しい。



大西麻貴
（建築家、大西麻貴＋百田有希 /o+h 共同主宰）

柔らかさや硬さ、加工のしやすさや肌触り、木目の美しさや色の違いなど、木だからこそ生まれる、素材としての魅力に着目した家具の提案がたくさんあって、素晴らしいと思いました。デザインとしては、たとえそれがささやかな提案であっても、デザインの違いによって、使い方に新たな気づきや発見が生まれているものを、魅力的に感じました。これからも、木を使った家具の様々な可能性を広げて行っていただけると良いなと思います。

【お問合せ】

株式会社フレイズクレーズ 家具コンペ 2025 事務局 frazecraze.publish@gmail.com

※課題および審査についての質疑応答、ならびにお電話での対応はいたしかねますので、予めご了承ください。

木材を使った 家具の デザインコンペ

Wood Furniture Design Competition 2025

主催：東京インターナショナル ギフト・ショー LIVING&DESIGN

趣旨

私達の地球には多くの森が散在しています。日本にも国土の約70%、森が存在しています。森の木々から、住まいや家具などに使われるまでには、伝統的な匠達の知恵が活かされています。そして、そのプロセスと技術からエコ文化の土壌が創られてきました。この豊富な資源を活用する手立てとして、培われた技術にデザインの力を加えて、広く世界の人々に知ってもらえるオリジナル性の高い、高品質な製品づくりを目指したいものです。このたび、過去8回に引き続き、木材家具のコンペを開催いたしました。

【テーマ】

「木材を使った家具」をテーマに、未発表の作品（キャビネット、テーブル等）を対象とし、アイデアだけではなく、実際に制作可能な提案を募集しました。
針葉樹あるいは広葉樹のどちらを用いるか、また、木材の生産地域などについては問いませんでしたが、各素材の特性を活かした作品を期待しました。

【スケジュール・審査】

2025年4月1日に募集を開始し、200点を超えるエントリーから厳正な審査で以下を選定いたしました。
・10点の入選作品、うち4点の入賞作品（本スペースにて展示）

Wood Furniture Design Competition 2025

All the eligible designers are invited to participate in this competition to design wooden furniture featuring the characteristics of trees such as conifers and hardwoods. Our judges are NAITO Hiroshi, KOIZUMI Makoto, and ONISHI Maki. In this exhibition, the prize-winning works are presented.

グランプリ

「目透かし」な筆筭

内藤 安朗

家具試作品製作

日高 孝志



銀賞

Shimauma chair

安藤 良和

銅賞

Ma-chair

鳥居 信貴



入選

[順不同]

金賞

Ensemble

峰田 啓生



MOKU ZABU | 北野 想汰



fondue | 竹中 隆雄



oshihiki | 安田 典広



kumu kumu chair | 長山 和奏



tsumutoki | 植野 靖隆、末金 優士



伸びをしている子猫の椅子 | 馬文薔 成璞
劉珊珊 趙晶爽 彭遠 李小根